

# 麦の生育と管理



令和7年3月号  
宇佐市農政課 / 大分県北部振興局集落営農・水田畑地化第一班

HPからも見れます！  
(毎月1日更新)

## 排水対策はしっかりと！ 降雨後はクワを持ってほ場を見回しましょう

例年、3月から徐々に気温が高くなり、麦の草丈も大きくなっていきます。この時期に排水不良だと根へのダメージが大きく、葉も黄化し生育が著しく悪化するので、注意してください。



**幼穂形成期以降に湿害にあうと大幅な減収につながります。**

降雨後は滞水している場所が一目で確認できます。雨が降った後はほ場の滞水状況を確認し、落水口へと水が落ちるよう額縁排水溝と畦間、排水口を連結し、確実にほ場外へ排出しましょう。

額縁の四隅や排水口をつなぐ。



### 湿害が発生した場合は・・・

土壤中で、水分が過剰となり根が大きなダメージを受けています。窒素成分で2kg/10a程度追肥し生育を回復させましょう。

窒素成分で2kg/10a：化成肥料（16-0-16）で約13kg/10a程度  
硫安（21-0-0）で約10kg/10a程度

湿害で葉が黄化した麦

## 雑草防除は早めに！

3月から気温の上昇が大きくなり、雑草の生育も早くなります。雑草を見つけたら早めに防除してください。雑草が大きくなりすぎると除草剤での防除は困難になるとともに、麦の生育・収量にも悪影響を及ぼします。

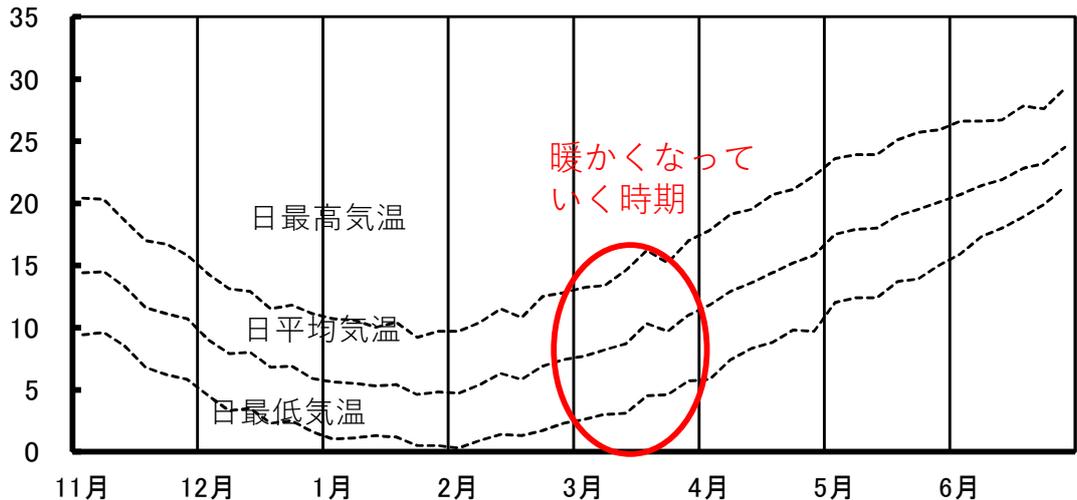
除草剤の種類と散布時期は、裏面掲載の表を参考にしてください。

・カラスノエンドウの種子は選別機で取り除くことが難しいので、みつけたら徹底して除草してください。

平年気温（宇佐市北宇佐65、水田農業グループ）

(°C)

カラスノエンドウ（種子）



# 参考 麦生育期間中の除草剤

|          |          | ハーモニー 75 DF水和剤                               | MCPソーダ塩             | バサグラン液剤                       |
|----------|----------|--|---------------------|-------------------------------|
| スズメノテッポウ | 雑草生育ステージ | 5葉期まで ※注1                                    | -                   | -                             |
| カズノコグサ   |          | 1～3葉期まで                                      | -                   | -                             |
| ヤエムグラ    |          | 4節期まで  | 1～4節期まで             | 3～6節期まで                       |
| カラスノエンドウ |          | -  | 1～4葉期まで             | 3～6葉期まで                       |
| 使用時期     |          | 小麦 は種後～穂ばらみ期<br>(但し収穫45日前まで)<br>大麦 は種後～節間伸長前 | 幼穂形成期<br>但し収穫45日前まで | 小麦 収穫45日前まで<br>大麦・裸麦 収穫90日前まで |
| 使用回数     |          | 1回   | 1回                  | 1回                            |

※注1 ハーモニーは、連年施用するとスズメノテッポウに対し効果の劣ることがあります。

※注2 雑草の発生・生育は比較的ゆっくりな時期ですが、圃場を巡回し、発生がみられたら初期に防除しましょう。

## あなたの圃場の土は大丈夫？

### ～土壌の健康診断～

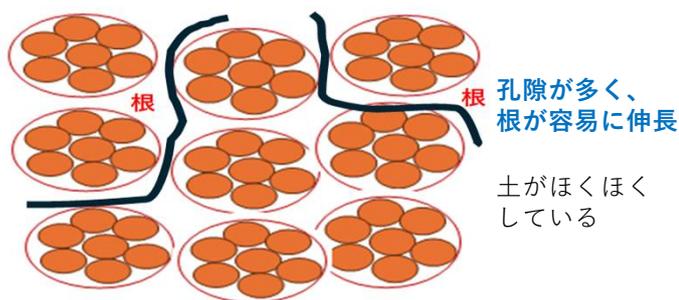
#### こんなことはありませんか？

- ・ 耕うん時に土塊が大きく、なかなか細かにならない。
- ・ 農機具の輪立ちが消えにくく、雨後に水が溜まりやすい。
- ・ 播種後の除草剤が効きにくい。

(一因として)

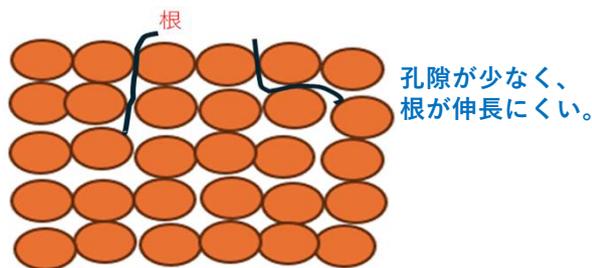
**有機物 不足**

作物を栽培する際の土壌構造は「**団粒構造**」が適しているといわれています。団粒構造が発達すると、耕うん作業が容易にできるほか、作物の根も健全に育ちます。堆肥などの有機物を例年施用することで団粒構造が発達します。



#### ◎団粒構造

腐食などの有機物、陽イオン、ミミズなどの微生物の粘液等で細かな団粒となります。



#### ×単粒構造

壁土のような土壌構造で、根の伸長もしにくく、排水性も悪い。有機物を入れず化成肥料のみで例年栽培しつづけると、このように作物栽培に適しない構造になるといわれています。

団粒構造を発達させるためには



牛ふん堆肥(例)で例年、1～2t/10aの施用がのぞましい。

## 農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

### ★登録方法★

配信受付メールアドレス [syuraku-hokubu@pref.oita.jp](mailto:syuraku-hokubu@pref.oita.jp)

件名または本文に宇佐市 氏名を記入して、配信受付メールアドレスにメールを送信してください。差出人のメールアドレスに農業情報を配信します。